

平成29年度決算に係る事務事業に対する提言

番号	事務事業名	所管常任 委員会	今後の方向性	事務事業に対する提言
1	消防・防災対策事業	総務文教	一部見直しのうえ 継続すべき	<p>地域防災力の強化、中でも防災リーダーの育成が急務であると考ええる。休眠状態に近いものも含め、自主防災組織の活動の活性化を図るための働きかけも必要である。スピード感が求められる事業であることを理解され対処されたい。</p> <p>また、消防団員の確保が今後も課題である。消防団の維持に向け検討されたい。</p>
2	市内企業と地方移住希望者のマッチング事業	総務文教	抜本的（事務事業の統廃合等）な見直しのうえ継続	<p>事業そのものの目的が明確でなく、有効性に疑問が多い。目標はあくまで移住者の獲得であるが、現在まで移住者の実績がなく、このままのやり方で目標とする効果、実績を上げることは難しいと思われる。</p> <p>市の魅力発信、参加企業の増加、対象を学生に限定するなど内容を工夫することを望むが、効果が期待できなければ別の事業に切りかえるべきだと考える。</p>
3	備後国府跡確認・整備・活用事業	総務文教	一部見直しのうえ 継続すべき	<p>国府跡の活用について、将来にわたって人を呼び込むための工夫が不可欠である。成功事例を十分に研究し、卓抜したアイデアをもって対応してほしい。</p> <p>また、市民に事業の必要性を理解してもらうためにも、マスコットキャラクターのさらなる活用等、効果的でわかりやすい周知方法を検討されたい。</p>

平成29年度決算に係る事務事業に対する提言

4	英検チャレンジ・府中市グローバルキャンプ事業	総務文教	一部見直しのうえ 継続すべき	<p>事業の必要性が十分浸透していない面があるため、保護者及び児童・生徒に事業目的を明確に伝えていく必要がある。また、個人の金銭的負担をできるだけ軽くするような助成方法が望ましい。</p> <p>グローバルキャンプの取り組みを充実させ、地域人材やALTの活用を積極的に進められたい。</p>
5	スポーツ施設環境改善事業	総務文教	一部見直しのうえ 継続すべき	<p>市内のスポーツ施設は全体的に老朽化している。一般財源以外の財源を可能な限り活用し、施設の集約も含め、効率的に整備されたい。</p> <p>あわせて、スポーツの振興も計画的に進めていくことが必要である。</p>
6	食育拠点施設こもれび	厚生	抜本的（事務事業の統廃合等）な見直しのうえ継続	<p>院内レストランは食育拠点と分離し、院内レストランに特化し集客強化を図られたい。</p> <p>食育拠点は、教育も含めて別の場所で拡充されたい。</p>
7	医療体制確保事業	厚生	一部見直しのうえ 継続すべき	<p>医師育成奨学金貸与事業について、引き続きPRの強化を図り、奨学生が市内で初期研修を受ける体制づくりなど環境整備に努められたい。</p> <p>新規開設医療機関について、医師確保が厳しい中、開業実績については評価でき、これまで以上に利用しやすい制度について検討されたい。</p>

平成29年度決算に係る事務事業に対する提言

8	女性IT技術者の移住促進PR事業	厚生	単年度事業 (事業評価のみ)	趣旨と内容が一致しておらず、事業の状況から全く効果がないと考え、事業については廃止されたい。 当事業の失敗を教訓とし、次の施策に生かされたい。
9	生活支援体制整備事業	厚生	一部見直しのうえ 継続すべき	地域包括ケアの一環として必要な事業であり、協議体に固執せず、発想の転換により、違う視点から地域づくりに取り組まされたい。
10	認知症総合支援事業	厚生	一部見直しのうえ 継続すべき	認知症初期集中支援チームのニーズは高いものの、周知不足により利用が低調であることから、活動の充実や周知に努められたい。 認知症サポーター養成を拡充すると共に市民の認知症に対する理解を深める取り組みを実施されたい。 効果の高い取り組みや相乗効果が期待できる、多事業及び多職種 の連携に努められたい。
11	地域農業振興支援事業	建設	現状のまま継続すべき	販売高・生産量の増加は規模の拡大があり、農業基盤の確立に向けた動きは感じられる。さらなる機械化を推進するため制度の周知を図られたい。あわせて、生産者を増加する取り組みと農産物のブランド化を進めるため、技術指導員を増やすなど相談体制の強化を進められたい。
12	ものづくり産業販路開拓事業	建設	一部見直しのうえ 継続すべき	将来ビジョンを明確にし、販路拡大に向けた数値目標の具体化に取り組まされたい。また、企業が参加しやすい事業になるよう市が積極的に関与し、さらなる販路拡大につながるよう努められたい。あわせて、制度の周知を積極的に行われたい。

平成29年度決算に係る事務事業に対する提言

13	老朽危険建築物除却 促進事業	建設	現状のまま継続す べき	相談・指導体制の強化を図り、スピード感のある空き家対策に取り 組まれたい。
14	都市再生整備計画事 業	建設	一部見直しのうえ 継続すべき	安心・安全で住みよい都市の基盤整備と市民生活の交流・子育て 支援の場になるよう、ウォーキングコースの検討やぐるっとバスの 利便性を図り、さらに中心市街地の観光につながるような仕組みづ くりに取り組まれたい。
15	地籍調査事業	建設	一部見直しのうえ 継続すべき	予算と人員の関係で遅々として進んでいないと思われる。できれ ば山林中心から、耕地部に早くウエイトを移すとともに、迅速化に 向けた効率的な事業の検討に取り組まれたい。